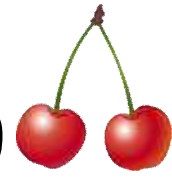




チェリーの会だより



2009年.No.1

「チェリーの会」すてきな名前でしょう。

この会は、公立那賀病院のドクター谷野裕一先生が中心となって、乳がん患者の方々をサポートする会です。

2か月に1回ぐらいのペースで、色々なテーマの講演を聞いたり、日頃から不安に思っていること、気になっていることを気軽におしゃべりを楽しむ会です。

毎回、予定の時間をオーバーするほど話がはずんでいます。



みなさんの心のケアは？

5月30日土曜日、三回目のチェリーの会が開かれました。場所は、公立那賀病院の2階会議室。今回は、17名の参加者と谷野先生、放射線技師の野上先生、臨床心理士の長谷川先生、プレストアドバイザーの大林さんとたくさんの方々の参加をいただきました。

今回のテーマは「心のケア」。なにかの病気を抱えると、大きさの違いはあれ、不安感におそわれます。“病は気から”という言葉があるように、心が元気でなくなると、身体も元気がなくなってきました。心のケアのためには、何をどうすればいいのかという気持ちで参加させていただきました。

初めに谷野先生のお話。この会をするにあたって、事前によせられた質問に答えるかたちでお話が始まりました。再発とどう向き合うのか、ドクターとのコミュニケーションをとるにはどうすればいいのか、ドクターによって治療方法がちがう時どう判断すればいいのかなどの質問に丁寧に答えていただきました。

そのあと、四月から那賀病院に着任し、精神面から患者さんを支えている臨床心理士の長谷川先生の紹介。和歌山県で唯一の患者サロンをお世話して頂いている野上先生のお話がありました。

そして、おしゃべりタイム。

日頃、夢中になっていることを話し合ったり、治療中の美容面の情報交換をしました。

今回も皆様方

「来てよかった。」

と想いを胸に、帰路につかれたことでしょう。



参加のみなさんの感想から

初めて患者会で自分と同じ手術をした人と会えて、いろいろな話ができ良かった。

みなさんの心のケア、過ごし方を聞いて私も参考にしたいと思いました。

とても和やかな雰囲気の中、楽しくおしゃべりができて、今日の会が「心のケア」になりました。

今後企画してほしいこと

- ・薬の副作用の対処方法
- ・リハビリ体操
- ・治療の最新情報
- ・ホルモン治療
- ・身体にいい食事の話

次回のチェリーの会のお知らせ

7月16日(木) 13時30分~15時30分

・場所 公立那賀病院 2階講義室

・テーマ「乳房再建」

Dr.taninoのちょっとブレイクタイム



あじさいには2種類有りますよね。下の方が好きだったのですが、写真を撮ってみれば上のも良いですね。

今日は、バレーボールの練習に行きます。3月14日にこけて、左膝を痛めてから初めての練習です。まだ時々痛いことがあるのですが楽しみです。火曜日に朝昼と外来でじっとしていると痛くなってきて、さすると少しましになります。お年寄りが膝をさすっているのを見ることがありますが、そうなんですね。痛いのはさするとましになる。さすっているとむくんでいるのがとれるように思います。手術の後も怪我と同じですから、さすると楽になるのかな？雨が多いあじさいの時期はしくしく痛むことが多いかもしれませんが、あじさいの花などを楽しみながら散歩したりすると気分的にも良いかもね。